



猛暑の候、地域の先生方には、益々ご清栄のことと存じます。
今月号は、「食物経口負荷試験」について、ご紹介させていただきます。
お手すきの時間にお読みいただければ幸いです。

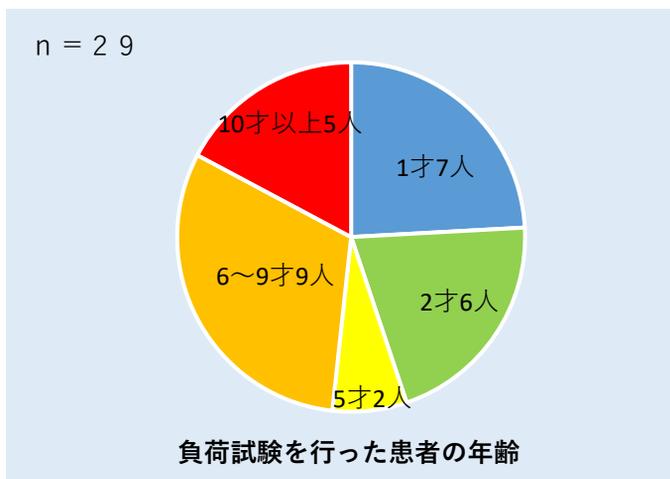
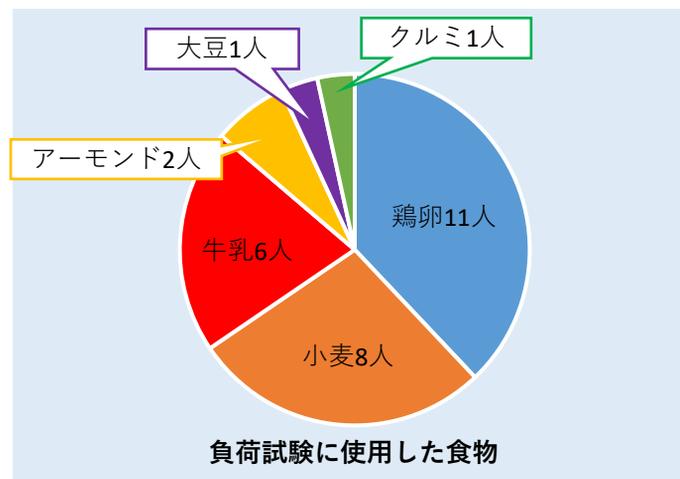
食物経口負荷試験

小児科では日帰り入院での経口負荷試験を毎週火曜日に実施しています。

2022年は年間29人実施しました。

基本的には漸増摂取法で30分ごとに4～5回の負荷を行っています。重症患者の場合は1時間毎に3回の負荷を行ったり、消化管アレルギーの方には1回の負荷を行うなど、症例に応じてアレンジしています。

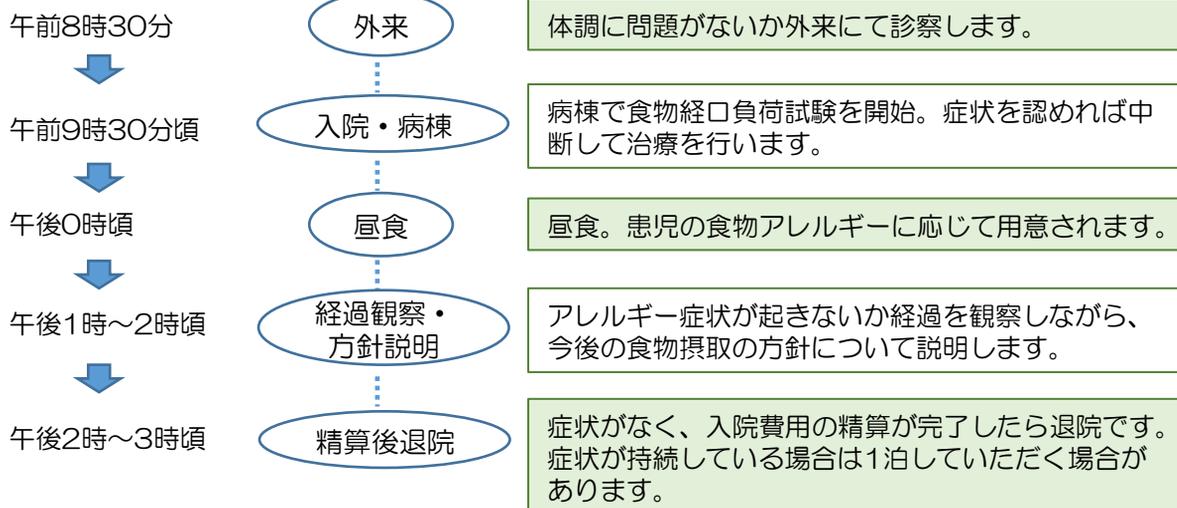
基本的にはどんな食物であっても希望があれば試験を実施しています。



小児科を受診していただき、食物経口負荷試験の内容や実施日を相談して予約を取っていただきます。長期休暇中は希望者が多いので、長期休暇中の実施を希望される場合は早めの受診をお勧めします。

ゆでたまご、うどん、牛乳など、主立った食品は当院の栄養管理科で用意します。用意できない食品の場合は持参していただきます。

食物経口負荷試験のスケジュール



当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒宜しくお願いいたします。

特定行為研修 修了しました



これからの医療を支える研修制度

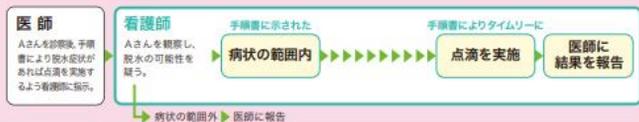
団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、今後の医療を支えるために保健師助産師看護師法が一部改正されました。平成27年10月1日から手順書により特定行為を行う看護師に対し、「特定行為研修」の受講が義務づけられました。

特定行為の実施の流れ ▶ 受講前・後でこのように変わります (脱水を繰り返すAさんの例)

特定行為の実施 (研修受講前)



特定行為の実施 (研修受講後)



厚生省HPより引用

2023年6月29日に特定行為研修を修了しました。修了した特定行為区分は「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」と「感染に係る薬剤投与関連」です。特定行為名としては「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」「脱水症状に対する輸液による補正」「感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与」です。診療の補助として特定行為を行っていくこととなりますが、急性期病院でこれらの特定行為をどのように行っていくことが患者さまの医療に役立つのか検討して、手順書作成に取り組んでいきます。

感染制御部 特定認定看護師 林

安全対策室の紹介



ダブル
チェック

6Rで確認



当院では病院理念のもと、急性期病院として安全でかつ質の高い医療を提供するため、安全管理の側面から医療安全・質管理部内に安全対策室を設置しております。太田副院長を部長とし、医療安全管理者研修を修了した専従看護師と薬剤部長、事務部門とで協力し以下の活動を実施しています。

- 1) 患者さまの安全確保の為の取り組みとして、インシデントレポートに基づく手順の確立や整備及び医療安全活動の推進、指導
- 2) 患者サービスの向上に寄与することを目的とした患者相談窓口と連携した患者対応
- 3) 医療事故発生時における初期対応や事例検討を行うことでの再発防止

患者さまへのより良い医療の提供に今後も励んでいきます。

今月の一品

夏野菜 キーマカレー

材料(4人分)

ご飯	800g	☆カレールー	2片
合いびき肉	200g	☆ケチャップ	大さじ3
玉ねぎ	1.5個	☆ウスターソース	大さじ2
なす	1本	☆水	100ml
人参	1本	塩こしょう	少々
ピーマン	2個		



〈作り方〉

- ① 野菜をみじん切りにする。
- ② 合いびき肉を塩こしょうで炒め、火が通ったら①を加えて炒める。
- ③ 野菜の水分が出てきたら☆を加え、水分がなくなるまで煮込む。
- ④ ご飯の上に盛り付けて完成。

栄養管理科



カレーに含まれるスパイスには、食欲増進や、消化促進の効能、健胃作用があるので、夏バテに効果的だと言われています。